

# 「つくる責任」「つかう責任」

## サプライチェーン考えて

環境対応とサプライチェーンにおける業界の課題の中に、廃塗料などの処理問題がある。産業廃棄物処理業者に話を聞くと、廃塗料、廃フラスコ等の産業廃棄物は山積み状態で処理が追いついていない状況である。

都内品川区で産業廃棄物処理業を営む小野運送店では、顧客は主に塗装業者。産廃業者には法律で規制がかかっており、最終焼却処理へ廃塗料を動かすことができれば、顧客から廃塗料を回収することができないという。

焼却炉については、年1回のメンテナンスが入ると、1カ月程度稼働停止となることから、この間の焼却能力も落ちる。となれば新しく産業廃棄物焼却場を作ればと思うが、規制が厳しくなかなか許可が降りない。

また、厳しい規制は環境対応を考えたことであるので、分類も細かく、廃棄料金の値上げも進行している。

コンプライアンス的に見ると、法律により厳しい罰則が科せられている

ことなどから、ゼロではないが不法投棄はかなり減ってきているが、今後、廃塗料の廃棄がさらに滞り、廃棄物の山積み状態が進めば、不法投棄が行われる懸念もあり、不安要素を抱えた状況だ。

産業廃棄物焼却場を増やせない状況下、少しでも焼却能率を上げるには、メンテナンス以外で炉を停止しないことが求められる。炉を傷める成分として一番塩素が挙げられるという。塩素含

有率を抑えた塗料開発も求められるであろう。これまでの塗料製造では、回収、産廃までを考えてこなかったのではないかと。近年では、リスクアセスメントの実施等、法規制で人に、環境に優しい、有害物質を排除した等の機能性塗料が次々に製造されている。つくる責任「つかう責任」から、使用後の処理費も含めた廃棄までを考えた塗料製造を考えなければならぬのではないか。

1896(明治29)年創業 120年の実績

お客様の気持ち運ぶ



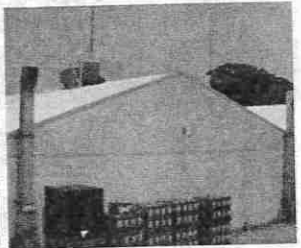
株式会社小野運送店



(運輸事業)



(産業廃棄物取扱い業)



(倉庫業)

お問合せは、お電話又はホームページで



03-3474-8778

http: www.ono-unso.co.jp